

同志社女子大学大学院 薬学研究科医療薬学専攻 履修モデル

事例④： 病院薬剤師として治験に係わってきたが、単なるスケジュール管理のみでなく、PK-PDを評価し、適切な副作用管理や対処法に積極的に関与できる高度な治験コーディネーターの必要性を痛感し、社会人大学院生として入学。

A群4単位、B群6単位、C群4単位、実習8単位、研究指導16単位、計38単位取得。

「新規乳癌治療薬の有効性と安全性評価に関する研究」というテーマで博士論文を提出。

		1年次		2年次		3年次		4年次		単位		
		春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期			
A群 (基礎薬学領域)		生体分子機能学特論②		医薬品分子機能解析学特論②						特論	4	6
		基礎薬学総合実習②									実習	
B群 (医療薬学領域)			薬効安全性学特論②	臨床治療薬効学特論②	がん分子標的治療学特論②					特論	6	8
			医療薬学総合実習②								実習	
C群 (実践的臨床薬学領域)				医薬品情報解析学特論②	治験・CRC特論②					特論	4	8
				実践的薬剤処方解析実習A②	実践的薬剤処方解析実習B②						実習	
研究指導科目		薬学特別研究－Ⅰ④(テーマ、方針の決定)		薬学特別研究－Ⅱ④(研究の遂行)		薬学特別研究－Ⅲ④(研究の遂行)		薬学特別研究－Ⅳ④(博士論文の完成)		16		
単位	半期	4	4	8	6	0	0	0	0	38		
	通年	4		4		4		4				
	計	12		18		4		4				